れんごう鳥取

JTUC

2017年5月1日
No.5

発行・日本労働組合総連合会鳥取県連合会
発行人・本川博孝　編集人・米村 徹
〒680-0847　鳥取市天神町30-5
TEL（0857）26-6605・FAX（0857）26-6615
E-mail:tottori@tottori.jtuc-rengo.jp
ホームページ: http://www.rengo-tottori.net

長時間労働の撲滅 ディーセント・ワークの実現 今こそ 底上げ、底支え、格差是正の実現を！

―第88回鳥取県メーデー大会で訴える―

デモ行進に出発！（中央大会）

プラカードコンクール最優秀賞（中部地域大会）

ガンバロー!!（西部地域大会）

連合鳥取はゴールデンウィークの初日の4月29日（土）、県内3会場に約5200人の組合員と家族、退職者連合のみなさん、推薦議員等の来賓が集い、「第88回鳥取県メーデー大会」を開催しました。今年のメーデー大会では「長時間労働撲滅」や「過労死ゼロ」に向けた「働き方改革」の重要性や、その実効性向上のための「組織拡大」の必要性を訴えました。

今年の中央大会は東部地協を中心に鳥取市千代川市民スポーツ広場で開催し、約1700人が参加しました。

本川博孝会長の「メーデー大会の意義」と「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け「連合鳥取への結集」を訴えた主催者あいさつの後、林昭男鳥取県副知事、内田敏之鳥取労働局長、深澤義彦鳥取市長、木村和久民進党鳥取県総支部連合会政策調査会副会長より来賓を代表して連帯のあいさつをいただきました。

続いて、大会スローガンの「長時間労働の撲滅」をテーマにしたメーデー川柳の表彰を行い、参加者が楽しみにしていた「お楽しみ抽選会」や「プラカードコンクール表彰」と「スローガン、宣言、特別決議」の採択を行いました。

式典の最後に、山根豊治東部地域協議会議長の音頭により「団結ガンバロー」を参加者全員で三唱し、「長時間労働をさせるな！」「連合鳥取は団結して闘うぞ！」とシュプレヒコールで市民に訴えながら、バードハットまで約1・7㎞をデモ行進しました。

■本川会長あいさつ（抜粋）■

＜春季生活闘争＞

①4年連続賃上げ、②非正規労働者の処遇改善、③長時間労働の削減、④すべての組合が要求書を提出する、の4つを目標に取り組んできた。中間集計（4月28日）では、要求書提出が86組合と昨年同時期より20組合多かった。そのうち、49組合で妥結し、平均賃上げ額は4,051円1.73％（4,171円1.79％　昨年同時期で▲120円）、その内、ベア獲得は12組合で1,000円～1,500円の幅となっている。4年連続、賃上げの流れが維持されているといえるが、特に、99人以下の組合では妥結額が平均で1,053円のマイナスと、非常に厳しい経営状況が続いている。引き続き、未解決組合の取り組みを支援していく。

＜長時間労働撲滅・働き方改革＞

幸せな生活を営むために働いているはずが、働くことが命を奪う実態が浮き彫りにされた。「働き方改革」を実現させるためには現場の労使の取り組みこそが鍵となる。労働組合のない職場で働く人も含めたすべての働く者の立場に立った「働き方改革」となるよう取り組みを進めていかなければならない。

■湯原俊二さんからのメッセージ■

第88回メーデーをお祝い申し上げます。

ご案内のようにメーデーは、働く人々が思いを結集して権利の要求と国際的に連帯して活動する日であります。

日本においてもその時々において、労働環境の改善はもとより政治や社会の問題に対しても声を上げてきました。しかしながら昨今の状況を見ると、後戻りしないかと懸念することが多々あります。私たちは常に問題意識を持ち、思いを結集させながら、先人が努力して積み上げてきた労働環境や社会的正義をこれからも不断の努力で前に進めていかなければなりません。

ともにがんばりましょう。

―メーデー大会については“フォトニュース”もご参照ください―

■2017春季生活闘争特集■

連合鳥取2017春季生活闘争 要求・回答・妥結状況 【2017.4.28現在集計】

※昨年同時期(2016.4.25)と比較

1.賃金要求提出状況

登録組合数	2017春闘：86組合	2016春闘：75組合

◆提出した		2017春闘（2017.4.28）【賃金関係】調査対象：000組合 平均方式	個別方式	合　計	2016春闘（2016.4.25）【賃金関係】調査対象：111組合 平均方式	個別方式	合　計
	組合数	67	9	76	57	9	66
	組合員	9,418	2,046	11,464	7,050	3,013	10,063

◆提出せず 体系維持分を確認		2017春闘	2016春闘
	組合数	5	4
	組合員	176	141

◆人勧準拠		2017春闘	2016春闘
	組合数	1	1
	組合員	148	146

◆未提出		2017春闘	2016春闘
	組合数	4	4
	組合員	485	479

◆回答・妥結		2017春闘	2016春闘
	組合数	49	49
	組合員	7,188	5,985

2. 要求状況 ※平均賃上げ方式 （体系維持相当+賃金改善） ※加重平均

平均賃上げ方式		2017春闘（2017.4.28） 組合数	組合員数	体系維持分	賃金改善分	合計 額	合計 率	2016春闘（2016.4.25） 組合数	組合員数	体系維持分	賃金改善分	合計 額	合計 率	昨年比 額	昨年比 率
加重平均	従業員 計	52	6,677	3,870	3,887	7,622	3.53	49	5,580	4,036	4,216	8,345	3.41	▲822	▲0.10
	300人以上	18	3,792	4,036	4,454	8,773	4.20	17	3,616	4,115	4,472	8,912	3.80	▲139	0.40
	299～100人	17	2,353	3,664	3,076	5,946	2.90	12	1,484	3,769	3,893	7,572	3.35	▲1,626	▲0.45
	99人以下	17	532	3,775	2,749	6,293	2.49	20	480	4,623	3,048	7,574	3.08	▲1,281	▲0.59

3. 回答妥結状況 ※平均賃上げ方式 （体系維持相当+賃金改善） ※加重平均

平均賃上げ方式		2017春闘（2017.4.28） 組合数	組合員数	合計 額	合計 率	2016春闘（2016.4.25） 組合数	組合員数	合計 額	合計 率	昨年比 額	昨年比 率
加重平均	従業員 計	28	4,562	4,051	1.73	36	4,577	4,171	1.79	▲120	▲0.06
	300人以上	12	2,795	4,426	1.89	14	2,932	4,291	1.70	135	0.19
	299～100人	11	1,651	3,482	1.55	11	1,373	3,909	2.02	▲427	▲0.47
	99人以下	5	116	3,146	1.32	11	272	4,199	1.85	▲1,053	▲0.53

4. 2017春闘「地域ミニマム賃金」について

要求書提出	提出した：3組合	水準目標クリアしていないが要求せず：12組合	
回答	水準目標をクリアした：0組合	改善したが水準目標をクリアできず：2組合	現状維持となった：1組合

5. 連合鳥取重点取り組み課題について

要求書提出	提出した：64組合	提出せず労使協議：0組合	何もしない：0組合	人勧準拠：0組合

取り組み項目	取り組みレベル	組合数	回 答 ・ 妥 結	組合数
非正規労働者への取り組み	○処遇改善	15組合	○処遇改善	5組合
	○その他の取り組み	12組合	○その他の改善	2組合
企業内最低賃金	○取り組む	20組合	○水準引上げ	9組合
水準引き上げ	※対象者　パート等含む全従業員	(6)	パート等含む全従業員	(3)
	組合員のみ	(12)	組合員のみ	(6)
協定化	○取り組む	9組合	○協定化	3組合
	※対象者　パート等含む全従業員	(2)	パート等含む全従業員	(1)
	組合員のみ	(3)	組合員のみ	(2)

取り組み項目	取り組みレベル	組合数	回 答 ・ 妥 結	組合数
総実労働時間短縮				
時間外労働削減	○取り組む	19組合		
年休の取得促進	○取り組む	18組合		
年休付与日数増	○取り組む	7組合	○付与日数増日	0組合
所定労働時間短縮	○取り組む	5組合	○所定労働時間短縮	0組合
時間外割増率引上げ	○取り組む	10組合	○割増率引上げ	0組合
希望者全員の65歳までの雇用確保			○制度導入	0組合
制度導入	○取り組む	3組合	○春闘とは別途、継続協議	0組合
組合員化	○取り組む	3組合		

■クラシノソコアゲ応援団！第2弾■

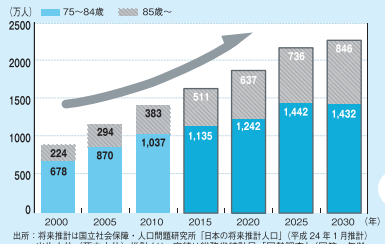
「安心と信頼の介護・保育は人材確保から」－各地協が街宣で訴える！－

連合は、2017年度の最重点政策の一つに、介護・保育で働く人材の確保を掲げています。これらの課題については、連合と構成組織が一丸となって、活動を強化していかなければなりません。

4月、自治労の介護の職場で働く仲間（組合員）と連合鳥取・地域協議会の役員がチラシ入りポケットティッシュを配布しながら街頭で訴えました。

介護離職をなくすために
- **介護労働者の給料引き上げ、労働条件の改善を!**
- **介護の仕事から離れた人への復職支援を!**

● **要介護率が高くなる75歳以上の人口の推移**



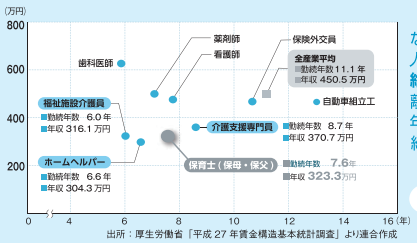
出所：将来推計は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口」（平成 24 年 1 月推計）出生中位（死亡中位）推計より、実績は総務省統計局「国勢調査」（国籍・年齢不詳人口を按分補正した人口）より連合作成

介護保険サービス利用者は約 **526** 万人（2016 年 3 月）。高齢化の進行に伴い、さらに**介護ニーズは増大**。

介護労働者は高齢者だけでなく、全世代にとっても必要！

待機児童をなくすために
- **保育士の給料引き上げ、労働条件の改善を!**
- **保育士が長く働き続けられるキャリアアップの仕組みをつくり、保育の質の向上を!**

● **各職種の平均勤続年数と平均年収**



出所：厚生労働省「平成 27 年賃金構造基本統計調査」より連合作成

なりたい職業ランキングで人気の保育士。就いてみたら、**給料が低くて続けられない**と離職する人も多数。年収では全産業平均より約 **130** 万円も差が。

もっと保育士が増えるといいな！

伯耆町議会議員選挙結果

4月18日（火）告示の伯耆町議会議員選挙は、定数と同じ14人の他に立候補の届け出がなく、全員の無投票当選が決定し、連合鳥取の推薦した大森さんも当選となりました。
組合員のみなさまのご支援に心より感謝いたします。

当選 大森 英一（おおもり えいいち）さん
（民進党公認／部落解放同盟）（推薦）

長年、お疲れ様でした

1983年泊村議会議員に初当選以後、連合鳥取の組織内推薦議員（JAM）として活躍された、酒井幸雄湯梨浜町議会議員が4月29日の任期満了を迎え勇退されました。
大変お世話になりました。

連合・神津里季生会長に「参議院選挙合区解消」についての要請書を手交（4月24日）

神津連合会長(写真中央)に要請書を手渡す本川会長(写真右から2番目)

昨年7月に実施された第24回参議院選挙で初めて導入された合区（鳥取・島根／徳島・高知）では、
①広範囲における選挙活動の困難さ
②有権者が直接候補者の政見に接する機会の減少
③投票率が過去最低を記録
④地域が抱えている課題が、国会に直接届かなくなることへの危機感
などの課題が明らかとなりました。

そこで、連合鳥取・島根・徳島・高知の会長より、連合の政策・制度要求と提言に、「次期参議院選挙に向けては、合区解消に向け、参議院の定数のあり方から根本的に見直し、各都道府県から最低1人は選出できるよう、関係する法律や選挙制度を抜本的に見直す。」との趣旨の提言を求める要請を実施しました。

ご存知ですか？「連合鳥取第3次男女平等推進計画㉕

「連合鳥取第3次男女平等推進計画」の3つの目標を覚えてる？ 今年は中間年を迎えるよ。数値目標を再確認して、「2016男女平等参画実態調査」の回答から達成状況を一緒に確認してみよう！

連合のゆるキャラ　ユニオニオン

◇3つの目標の達成度をはかるための「数値目標」

①運動方針に男女平等参画推進と3つの目標を明記している組織
- 2015年までに 50%
- 2017年までに 70%
- 2020年までに 100%

②産別・単組における女性役員を選出している組織
- 2017年までに 50%
- 2020年までに 100%

③連合鳥取の執行委員・機関会議の女性参画率
- 2020年までに 30%

□3つの目標
- ≪目標1≫　働きがいのある人間らしい仕事（ディーセント・ワーク）の実現と女性の活躍の促進
- ≪目標2≫　仕事と生活の調和
- ≪目標3≫　多様な仲間の結集と労働運動の活性化

連合鳥取の達成状況

※右の（%）は回答のあった27産別中21産別（172単組中90単組）を分母としています。回答のなかった産別・単組も含めると数値が変化します。

①の達成率	産別／23.8%（5産別） ※一部明記23.8%（5産別） 単組／14.4%（13組合） ※一部明記25.6%（23組合）
②の達成率	産別／66.7%（14産別） 単組／73.3%（66組合）

Information

※詳しくは、連合鳥取事務局へお問い合わせください。

各地域協議会／　政策実現集会

西部地協　湯原俊二さんと未来を創る集い

◇日　時　2017年5月16日（火）18時30分～
◇場　所　米子コンベンションセンター
◇内　容　①湯原俊二「基調提起」
②湯原俊二と組合員とのパネルディスカッション
テーマ　・子育て、教育　・その他
パネリスト
組合員（自治労・UAゼンセン・日教組・JR連合・全国農団労を予定）
（補助）連合鳥取推薦県議会議員（福間裕隆県議・森 雅幹県議）
佐貫馨西部地協事務局長
コーディネーター　浜田妙子県議会議員

中部地協

◇日　時　2017年6月7日（水）18時30分～
◇場　所　倉吉シティホテル
◇内　容　①推薦議員活動報告　②湯原俊二さん講演
③グループ討議　④発表

東部地協

◇日　時　2017年6月8日（木）18時30分～
◇場　所　とりぎん文化会館　第4会議室
◇内　容　①湯原俊二さん「基調講演」
②パネルディスカッション

連合鳥取／　平和に関する現地学習会

◇実施日　2017年5月18日（木）～21日（日）
◇内　容　沖縄県視察研修
・連合沖縄との意見交換会
・戦跡めぐり（フィールドワーク）等予定
◇参加者　連合鳥取執行委員

青年委員会／　産別交流会

◇日　時　2017年5月20日（土）開会10時00分～
◇場　所　森の国　大山フィールドアスレチック（大山町）
◇内　容　フィールドアスレチック
（雨天時／施設内でキーホルダー作成）

連合鳥取 クール・ビズ
（ノーネクタイ・ノー上着）
を4月29日より スタート！
（10月31日まで）

湯原俊二
―緑肥（りょくひ）の想い―

ＪＰ労組鳥取伯耆支部
永年勤続壮行会兼退職者送別会
4/15 米子ワシントンホテル

介護人材の確保に関する
街宣行動（西部）
4/7 ＪＲ米子駅前

明治製作所労組青年女性部
新入社員歓迎会
4/8 倉吉シティホテル

自治退西部地区退職者会
定期総会
4/19 米子コンベンションセンター

日圧スーパーテクノロジーズ労組
連合中部女性部セミナー
4/22 倉吉シティホテル

大山乳業壮年部学習会
4/22 花屋別館

民進党街頭演説活動

＊組合行事に湯原さんを呼んでください。
＊湯原さんの想いを直接聞いてください。
＊そして、私たちの声も湯原さんに届けましょう。

湯原俊二は労働法制の問題についてこう考える

安倍政権は、大企業から政治献金をもらい労働法制を改悪しています。派遣労働を一生可能にする法律を成立させ、成果主義にもとづく残業代ゼロ法案も国会で継続審議中です。金銭を払えば解雇できる法案も検討中です。長時間労働の問題でも、政府内では繁忙期には月100時間の残業を認める法案も検討中です。

私は、派遣労働は通訳など特定の分野に限り、他の労働法制の改悪には反対し安心して働ける労働環境を政治がちゃんと作るべきと考えます。

またみなさまの職場におかれましては、労働環境の改善のため春季生活闘争で勝利を収められますことをご祈念申し上げます。

“ザ・議員”

上田　孝春　鳥取市議会議員

全国的に、今、議員の活動、資質が大きく問われています。

私は、連合、地域、支持者に支えられて８期28年、議員活動に取り組んでまいりました。

私は、支持者の市政に対する声、要望にどう対処するかが議員の役割、責務と考えています。地域住民が安全に、そして安心して住み、日々の生活を心豊かに暮らすため、行政に対してさまざまな要望事項があります。地域要望事項の解決のため、予算要求時を踏まえ、毎年10月下旬頃に、各集落の区長と一緒になって、市、県、国交省の担当課と直接交渉を28年間行ってきました。

私は、地元、支持者と常に連携して、地についた日々の活動を行うことが大切であると考えており、今後も連合、地域と連携を密にし、引き続き議員活動を行ってまいりたいと考えていますので、連合のみなさまもよろしくお願いいたします。

伊藤　ひろえ　米子市議会議員

私は「安心して子どもを生み育てられる米子市」をめざし活動しており、その中でも児童虐待防止をライフワークとしています。「NPO法人子どもの虐待防止ネットワーク鳥取」「NPO法人児童自立援助ホーム　ピアホームをささえる会」「子どもへの暴力防止活動とっとりCAP」「里親とっとり」など児童虐待防止活動を継続しております。写真は、『2016年鳥取西部地区オレンジリボン　たすきリレー』で、日本全国各地で子ども虐待防止を目的として行われた時のものです。

前列右から4番目（ゴールの米子児童相談所前）

昨年のオレンジたすきリレーは行政、警察、鳥大、子ども支援センター、教師など多くの団体個人の方々、そして、私たち米子市議会でも超党派で参加できました。当日、あいにく、20年ぶりに発熱し38度でぼうっとする中、多くの仲間と米子市役所から米子児童相談所まで完走することができ、思い出深い取り組みとなった1枚です。子どもたちの健やかな育ちを保障することが、私たち大人・社会の責任だと感じています。しかし、子どもへの虐待は後を絶たず、心が痛みます。

てんじんこらむ

「女性活躍推進法」が昨年夏に成立し、「働く場面で活躍したいという希望を持つすべての女性が、その個性と能力を充分に発揮できる社会」を実現するために、行動計画の策定が事業主に義務付けられた▼これまで会社や労働組合でも女性の登用や、企画への参画が求められてきた。しかし私の周りでは、女性が能動的にではなく、受動的に参画していると感じている。女性が表に見えてくると、目立った成果のように映るが、社会の風潮が昔ながらのままでは、なかなか女性が「チャンスだからやってみよう」という自主的参画には繋がらない▼一例として、最近の統計では男性が育休を取得した実績のある事業所、そして育休を取得した男性、共に割合は上昇しているとのこと。しかし中身は、男性の育休取得日数は「５日未満」が６割近く、育休取得後の復職希望者の内、退職した男性は０・１％なのに対し、女性は７・２％という現実▼このまま環境整備が進まないまま、結果のみを追い求めるようでは、その重みに耐えられず…となると元も子もない。法律には「活躍したい」という希望を持つすべての女性が「女性自らの意志によって参画」と謳われている。

（わかば値上がりました）

再生紙を使用しています